Childcare Practices in ISHIKAWA Prefecture

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/43619

研　　究

石川県における乳幼児の育児の実態と母親の意識

西村真実子[1)*1]，津田　朗子[2)*2]，林　千寿子[5)*3]
木村留美子[2)*1]，関　秀俊[2)*4]，飯田　芳枝[3)*5]
松本　美紀[4)*5]，伴　真由美[1)*1]

〔論文要旨〕

3歳未満の乳幼児の母親498名を対象に，育児の実態と母親の意識を調査した。81.9%の母親が育児にストレスを感じ，その理由に自分の時間がない，子どもが泣き止まない・言うことをきかない，母親の疲労などを挙げる者が多かった。ストレスを感じる者は第3子までの育児の時に多く，第4子以降の育児で減少していた。これらから，育児のストレスには兄弟数や子どもの要求の強さなど，複数の要因が関与していると思われた。

また，専業主婦が有職の母親よりストレスを感じる者や自分だけで子育てをしていると思う者が多く，一方有職者の中では，常勤者がパート等の者よりストレスを感じる者や育児のために我慢をしていると思う者が多かった。無職の母親が自分だけで子育てをしているという不満をもちやすく，常勤者が時間の制約の中で我慢が蓄積しやすいことが推察された。

Key words：乳幼児，子育て，ストレス，母親の意識

Ⅰ．はじめに

近年，乳幼児の子育てに困難感や苛立ち，困惑，自信のなさ，嫌だという思い，及びそのような自分への嫌悪感などのマイナス意識を訴える母親が増加していると言われている。また，身近かな相談相手や育児を部分的に代行してくれる者の欠如がこのような母親のマイナス意識を増大させていることも指摘されている[1~3)]。このような傾向は1970年代後半の調査[4)]で指摘されていたが，ほぼ同じ対象を1992年と1997年に追跡した調査結果[5)]をみても同様の傾向を示しており，母親の否定的な意識は軽減されていないと思われる。また育児の電話相談においても，子どもに手をあげたり暴言を吐いたりする自分自身に悩む母親からの相談が多いといわれている[6,7)]。

そこで，石川県における乳幼児の育児および母親の意識の実態を明らかにし，子育て支援策を考える上での資料とした。

Ⅱ．調査方法

1．対　　象

対象は，石川県内において平成8年4月から平成10年7月の間に出生した単胎児の母親852名である。対象の選出は石川県内の保健福祉センターと金沢市保健福祉センターにおける人口動態の出生小票から，上記期間に出生した単胎

Childcare Practices in ISHIKAWA Prefecture
Mamiko NISHIMURA, Akiko TSUDA, Chizuko HAYASHI, Rumiko KIMURA, Hidetosi SEKI, Yoshie IIDA, Miki MATSUMOTO, Mayumi BAN
1）石川県立看護大学　2）金沢大学医学部保健学科　3）石川県福祉保健部健康推進課
4）元石川県南加賀保健所　5）元金沢大学医学部保健学科
*1 研究職(看護婦，保健婦)　*2 研究職(看護婦)　*3 研究職(看護婦，助産婦)
*4 研究職(医師)　*5 行政職(保健婦)
別刷請求先：西村真実子　石川県立看護大学　〒929-1212 石川県河北郡高松町中沼ツ7-1
Tel 076-281-8331　Fax 076-281-8337

〔1153〕
受付 99. 7. 8
採用 00.10.31

Presented by Medical*Online

児を無作為に抽出した。

2. 方　　法

調査は無記名にて依頼し，郵送にて行った。期間は平成10年11月～同年12月である。調査内容は**表1**のように，母親と子どもの属性，育児の状況，育児に関する母親の意識，妊娠・出産・育児に関して望む支援である。また，母親の意識と背景要因の関係を明らかにするために，χ^2 検定と student-t 検定を用いて分析した。

Ⅲ. 結　　果

母親498名からの回収が得られた（回収率58.5%）。

1. 対象の特性

表2に母子の特性を示した。母親の平均年齢は30.2歳で，有職者が46.4%，核家族56.8%であった。対象児の年齢は1か月～2歳7か月（平均17±8か月），男児が46.8%，第1子44.1%，第2子39.2%，第3子以上17.5%で，病気がある者6.6%，発達の遅れがある者2.2%であった。また，72.3%の母親が主な保育者は自分のみであると答え，90%以上の母親が家事や育児の協力者や相談者をもっていた。

2. 育児の状況（表3）

授乳に費やす時間や，育児で夜間起きる回数，平均睡眠時間を年月齢別にみたのが**表3**である。授乳に費やす時間は乳児期前半において多く，睡眠時間や夜間起きる回数は乳児期後半において多かった。

また，母親が育児の情報源として挙げた上位のものは雑誌・テレビ・新聞が329名（66.1%），次いで友人・知人が292名（58.6%），乳幼児健診190名（38.2%），家族173名（34.7%），妊婦健診171名（34.3%）の順に多かった。

3. 育児に対する母親の意識

1) 育児に関する心配事

育児に関して心配事がある者は，361名（72.5%）であった。子どもの出生順位が若いほど，また集合住宅に住んでいる者がその他の住居に住んでいる者より心配事がある者が多

表1　調査の内容

1. 母親と子どもの属性
   - 母　親：年齢，仕事の有無および仕事の形態，同居家族，住居形態
   - 子ども：年齢，出生体重，健康状態，病気の有無，成長の遅れの有無，言葉の遅れの有無，保育園等への通園の有無
2. 育児の状況
   - 主な保育者，育児の協力者，家事や育児の相談者，夫の協力
   - 一日の授乳時間，母親の睡眠時間，夜間起きる回数，育児の情報源
3. 育児に関する母親の意識
   - 育児で困った事，育児への心配事，育児ストレス，ストレスの解消方法
   - 子どもと一緒にいて楽しいか，叱りすぎや虐待があると思うか，育児のために我慢ばかりしていると思うか，自分だけで育児をしていると思うか
4. 妊娠・出産・育児に関してあったらよい支援は何か

表2　対象の背景　（n=498）

項　　目	人　数(%)
母親の平均年齢(歳)	30.2±4.2
有職者	231 (46.4)
母親の仕事の形態—有職者	
常　勤	122/230 (53.0)
自　営	33/230 (14.3)
パート	51/230 (22.2)
その他	24/230 (10.4)
核家族	283 (56.8)
一戸建て住宅	350 (70.3)
子どもの平均年齢(月)	17.1±8.0
子どもの性別—男	233/481 (46.8)
子どもの出生順位	
第1子	219 (44.1)
第2子	195 (39.2)
第3子以上	83 (17.5)
不　明	1 (0.2)
平均出生体重(g)	3092±470
子どもの病気あり	32/488 (6.6)
子どもの発達の遅れあり	11/490 (2.2)
保育所・幼稚園に通っている	123/482 (25.6)
主な保育者が自分のみ	360 (72.3)
家事や育児の協力者がいる	459 (92.2)
育児の相談者がいる	477 (95.8)

平均±標準偏差または人数(%)

Presented by Medical*Online

表3 子どもの年齢別にみた育児に費やす時間

子どもの年齢	一日の平均授乳時間(分)	一日の睡眠時間(分)	夜間起きる回数
乳児期前半(n=58)	104.9±72.3	384.3±68.5	1.7±1.4
乳児期後半(n=96)	70.7±76.0	388.4±80.0	2.4±1.6
1 歳 (n=238)		400.2±70.7	1.9±1.5
2 歳 (n=105)		408.0±70.7	1.9±1.5
計 (n=497)	86.2±76.3	398.0±73.4	1.7±1.5

数字は平均±標準偏差

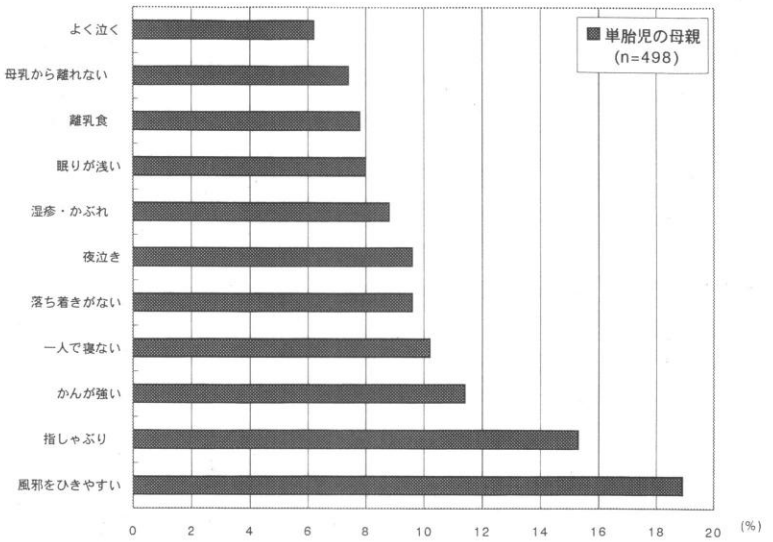

図1 育児に関する心配事

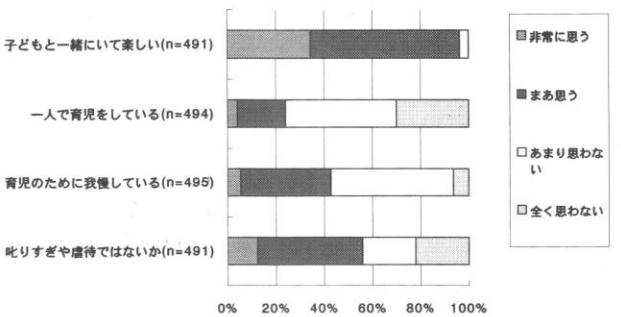

図2 育児に関する母親の意識

かった（**表4**）。心配事の内容は風邪をひきやすいが18.9%と最も多かったが，ついで指しゃぶりが15.3%，かんが強い11.4%，一人で寝ない10.2%，落ち着きがないと夜泣きがそれぞれ9.6%の順に多く，子どもの問題行動が上位を占めていた（**図1**）。

また，子どもを叱りすぎたり虐待しているのではないかと“非常に思う”または“まあ思う”と回答した者の合計が44.8%で（**図2**），このような心配がある者は第4子，第2子，第3子，第1子を育児している者が順に多かった（**表4**）。

2) 育児ストレスとストレス発散

Presented by Medical*Online

表4　母親の育児に関する意識と背景要因の関係

母親の意識 / 背景要因	育児の心配事	ストレス	育児のために我慢している		自分だけで子どもを育てている	
	あり	あり	そう思う	そう思わない	そう思う	そう思わない
出生順位						
第1子	179(83.3)	177(82.7)				
第2子	139(71.3) **	166(85.6) *				
第3子	39(53.4)	60(81.1)				
第4子	3(42.9)	5(50.0)				
仕事の有無						
有職		179(79.2) **			38(16.5)	192(83.5) **
無職		227(86.3)			81(30.9)	181(69.1)
仕事の形態						
常勤			65(45.5)	66(54.6)	16(13.1)	106(86.8) *
自営			11(33.3)	22(66.7) *	8(24.2)	25(75.8)
パート等			29(39.2)	45(60.8)	14(19.0)	60(81.0)
相談者の存在						
いる			197(41.5)	277(58.4) **	110(23.2)	363(76.8) **
いない			15(88.3)	2(11.8)	8(47.0)	9(53.0)
協力者の存在						
いる					92(20.1)	365(79.9) **
いない					26(72.7)	10(27.3)
住居形態						
一戸建て住宅	245(70.8) **				70(20.1)	278(79.9)
集合住宅	109(81.3)				46(36.3)	88(65.7) *
その他	6(54.5)				3(27.2)	8(72.8)

母親の意識 / 背景要因	叱りすぎや虐待ではないか		ストレス解消	子どもと一緒にいて楽しいか		
	そう思う	そう思わない	できている	とても楽しい	まあ楽しい	あまり楽しくない
出生順位						
第1子	69(32.1)	146(67.9)				
第2子	111(57.8)	82(42.2) **				
第3子	33(45.2)	40(54.8)				
第4子	5(71.4)	2(28.6)				
仕事の有無						
有職						
無職						
仕事の形態						
常勤						
自営						
パート等						
相談者の存在						
いる			310(67.2) **	164(34.9)	291(61.9)	15(3.2) *
いない			5(29.4)	4(23.5)	10(58.8)	3(17.6)
協力者の存在						
いる				158(34.9)	281(62.0)	14(3.1) *
いない				11(29.7)	22(59.5)	4(10.8)
住居形態						
一戸建て住宅						
集合住宅						
その他						

**$p<0.01$，*$p<0.05$（χ^2検定，Fisherの直接確率法）
（　）内は背景要因の同一分類に属する母親の内での％
「そう思う」は“非常に思う”と“まあ思う”と回答した母親の合計，「そう思わない」は“あまり思わない”と“全く思わない”と回答した母親の合計

Presented by Medical*Online

育児にストレスを感じるかという設問に対して“非常に思う”または“まあ思う”と回答した者の合計が408名（81.9%）であった。また，育児のために我慢しているかについては212名（42.5%）が，一人で育児をしていると思うかに対しては119名（23.9%）がそれぞれ“非常に思う”または“まあ思う”と回答していた（**図2**）。ストレスを感じた理由は，自分の時間がないを挙げた者が45.2%と最も多く，次いで子どもが言うことをきかない39.2%，泣きやまない29.7%，自分の体調が悪い28.7%の順に多かった（**図3**）。

育児のストレスは第1子から第3子の育児の時に感じる者が多く，第4子以降の育児では第3子までの育児の時よりも減少していた。また，専業主婦などの無職の母親が有職の母親よりストレスを感じる者や，一人で子どもを育てていると思う者が多かった。一方，有職の母親の中では，常勤の者がパートや自営の者より育児のために我慢していると思う者が多く，逆にパート等の者は一人で子どもを育てていると思う者が常勤者より多かった。住居形態別にみると，集合住宅に住んでいる者が一戸建てやその他の住居に住んでいる者より一人で子どもを育てていると思う者が多かった（**表4**）。

さらに，ストレスの解消をしている者は318名（63.8%）で，残りの約40%の者はストレス解消ができていなかった。ストレス解消ができていたのは，育児の相談者がいる者に多かった（**表4**）。解消方法は，友人との会話がストレスを感じた318名のうち223名（70.1%）と最も多く，次いで夕食や飲みに出るが70名（22.0%），趣味にふけるが53名（16.7%），育児サークルへの参加が27名（8.5%）の順に多かった。

3) 子どもに対する意識（図2）

子どもと一緒にいて“非常に楽しい”と答えた者が34.4%，“まあ楽しい”と答えた者は61.9%であり，両者をあわせると96%をこえる者が子どもに肯定的な意識をもっていた。このような母親は育児の相談者や協力者がいる者に多かった（**表4**）。

4. 母親が望む支援（表5）

妊娠・出産・育児に関して母親が望む支援の上位のものは，出産祝金制度，一時保育，無料の妊婦健診回数の増加，同年齢児をもつ親の集会，育児用品貸出制度，育児教室の順に多かっ

表5 妊娠・出産・育児に関して母親が望む支援

項　目	人　数(%)
出産祝金制度	275 (55.2)
一時保育	219 (44.0)
無料の妊婦教室の増加	205 (41.2)
同年齢児をもつ親の集会	169 (33.9)
育児用品貸出制度	135 (27.1)
育児教室	131 (26.1)
育児支援ヘルパー教室	79 (15.9)
乳幼児等の医師訪問診査	61 (12.2)
保健婦等の家庭訪問	59 (11.8)
家事支援ヘルパー教室	59 (11.8)
妊婦教室	49 (9.8)
妊婦訪問	23 (4.6)
その他	114 (22.9)

(n=498)

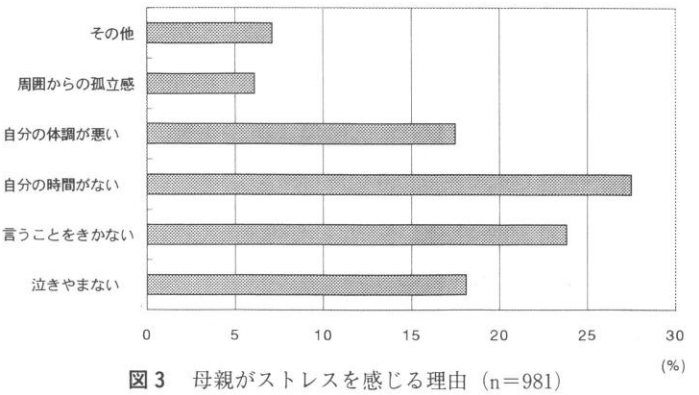

図3 母親がストレスを感じる理由（n=981）

Presented by Medical*Online

た。

Ⅳ．考　　察

本調査の対象になった母親の70％が主な育児者は自分であると答えており，3歳までの乳幼児期の育児においては母親が大きな役割を担っているのがわかった。しかし，90％をこえる母親が育児にストレスを感じ，約40％の者が育児のために我慢していると，また約24％の者が自分だけでで子どもを育てていると感じており，これは近年の育児の実態調査とほぼ同様の結果であった。しかし一方では，子どもと一緒にいて楽しいと思う母親が95％を越え，子育て感情の二面性が示されていた。

また，出生順位が若い子どもの母親ほど心配事を有する者が多かった。これは，初めての育児のためと思われるが，母親が育児にストレスを感じていたのは第1子の育児の時だけではなかった。第2子，第3子の育児の時にもストレスを感じる者は同様に多く，第4子以降の育児の時にようやく減少していた。また，ストレスを感じる理由に子どもが泣き止まなかったり言うことをきかないこと，母親の疲労，母親自身の時間がないことを挙げる者が多かったことから，育児ストレスは母親の経験不足だけではなく，兄弟数や子どもの要求の強さなど，複数の要因が重層的に関与していると思われた。さらに，育児の相談者の存在が母親のストレス発散に効果的で，相談者や協力者がいる者に子どもへの肯定的な意識をもつ者が多いことも明らかになり，育児サポートの重要性が確認された。

さらに，専業主婦が有職の母親よりストレスを感じる者や自分だけで子どもを育てていると思う者が多く，有職の者の中では常勤者の方が育児のために我慢していると思う者が多かった。常勤者は限られた時間に中で母親，主婦，妻の3役をこなし，母親自身の時間がない状況で我慢が蓄積しやすいことが推察されるが，一方で専業主婦は育児主体者としての大きな役割が期待され，自分だけで子育てしているという不満をもちやすいと思われた。

Ⅴ．ま と め

石川県の3歳未満の乳幼児をもつ母親の81.9％が育児にストレスを感じており，ストレスを感じる者は第3子までの育児の時に多く，第4子以降の育児で減少していた。ストレスを感じる理由には自分の時間がない，子どもが泣き止まない・言うことをきかない，母親の疲労を挙げる者が多く，育児ストレスには兄弟数や子どもの要求の強さなど，複数の要因が重層的に関与していると考えられた。また，無職の母親が有職の者より，また有職者の中では常勤者がパートなどの者より育児にストレスを感じる者が多く，無職の母親は自分だけで子育てをしているという不満をもちやすいことや，常勤者が限られた時間の中で我慢が蓄積しやすいことが推察された。

文　　献

1) 納谷保子．養育問題からみた育児不安について—大阪府保健所保健婦調査結果．第45回日本小児保健学会講演集　1998：134-135.
2) 佐々木正美．児童精神科医の見る子育て不安．現代のエスプリ　1996；342：28-32.
3) 大日向雅美．最近の子どもを愛せない母親の研究からみえてくるもの．家庭研究年報　1995：20
4) 大日向雅美．母性意識に関する発達的研究，3つの世代間の差異について．日本心理学会第41回大会発表論文集　1977.
5) 高江幸恵．お母さんの実感アンケート報告(5)「子どもがかわいく思えない」母親の5年後の変化とその背景．第45回日本小児保健学会講演集　1998：122-123.
6) 平田佳子．子どもの虐待電話相談の活動．小児内科　1995；27：1669-1673.
7) 芹沢茂登子．電話相談からみた子育ての悩みと不安．現代のエスプリ　1996；342：38-45.

Presented by Medical*Online